

【月案】9月・0歳児

今月の保育のポイント

- 残暑厳しい中で体調が変化しやすいので、個別の健康状態に合わせて丁寧に対応する。ゆったりと過ごせるように、離乳食を口当たりの良いものにしたり、室内の湿度、温度を工夫、情緒の安定を図るために保育者もゆったりと関わるようにする。
- 人見知りで不安になり泣く子どもについては、一定の保育者が関わり、その保育者と一緒に安心して外の世界に目を向けられるようにしていく。
- 離乳食の進め方については、個別の進み具合や愛着の深まりに合わせて計画を立てる。口の中のものが無くなると、泣いて表現する子どもに満足するまで食べさせるようにし、逆に進まない子どもには無理をして口に入れない。
- 投げ座りの姿勢で遊ぶことも多い。転倒して怪我をしないよう、周りにクッションを置いたり、安全な環境で遊べるようにする。

月のねらい

- 身体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わう。
- 健康に配慮してもらいながら、生活リズムを整えて快適に過ごす。
- 安全な環境の中で、気に入った遊びや好きな遊びを楽しむ。
- 楽しい雰囲気の中で、食事を自分で進めようとする。
- 残暑を健康に過ごせるようにする。
- 安心できる保育者のもとで安定して過ごす。
- 外気に触れたり、歌や絵本等を通して季節の移り変わりに触れる。
- 簡単な身の回りのことに興味を持ち、保育者と一緒にやってみようとする。

週のねらい

その1

- 1週目：生活リズムを整え、健康に過ごす（養護）
- 2週目：保育者との触れ合いを喜び、親しみを持つ（養護）
- 3週目：戸外で自然に触れ、興味を持つ（教育）
- 4週目：好きな遊びを繰り返し楽しむ（教育）

その2

- 1週目：ハイハイやつかまり立ちなど全身を動かして遊びを楽しむ（教育）
- 2週目：安全な環境で、遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：興味のあるものを見つけたりして、好奇心を満たしながら遊ぶ（教育）
- 4週目：気温の変化に留意して、個々の生活リズムを整えて快適に過ごせるようにする（養護）

その3

- 1週目：一人ひとりと温かな触れ合いを持ち、安定して過ごせるようにする（養護）
- 2週目：安心できる保育者に自分の欲求を伝えようとする（養護）
- 3週目：秋の歌を聞いたり、絵本を見たりすることを楽しむ（教育）
- 4週目：自分のオムツを出そうとしたり、ズボンを脱いだりする（養護）

その4

- 1週目：音楽に合わせて声を出したり体を動かしたりすることを楽しむ（教育）
- 2週目：指差しや喃語で表現することを楽しむ（教育）
- 3週目：手づかみをしながら食事することを楽しむ（養護）
- 4週目：朝夕と日中の寒暖差に留意し、着替えをしながら過ごす（養護）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 食事の際には自分で意欲的に食べ進める子どもが多い。手掴みで食べることがほとんどだが、スプーンに興味を示し、持ってみようとする姿が見られる子どももいる。
- 沐浴やシャワーの際には心地よさそうにしている。
- 午前睡や午睡の時間が一人ひとり安定してきている。親しみのある保育者に見守られながら、心地よく入眠している姿が見られる。
- いつも関わっている保育者に抱っこしてもらったり触れ合ったりすると嬉しそうにしている。
- 長期休み明けは生活リズムが崩れている子もいたが、無理なく働きかけることで園のリズムを取り戻すことができた。
- 夏風邪に罹患し、欠席する子がいた。登園時も機嫌が悪かったり、食事が摂れなかったり体調が万全でない様子が見られていた。
- 着替えをする際に声をかけると両手をあげたり、足をズボンに入れようとする。
- 食事前後の手洗いを喜び、自ら水道に向かう。

教育（遊び）

- 水遊びでは、初めは嫌がったり驚いたりする反応をしている子どももいたが、少しずつ親しみを感じていた。回数を重ねるとカップを持って嬉しそうにしたり、ジョウロで水をかけてもらうことを喜んでいる姿が見られた。
- ハイハイや伝い歩きをして、興味のあるものや場所に自分で移動し、活動範囲が少しずつ広がってきている子どももいる。
- 好きな遊びや気に入っている遊びを保育者が一緒に行うと、とても嬉しそうにしている姿が見られる。
- 戸外では砂の感触に触れ、保育者と一緒に山を作ったり崩したりして遊ぶことを楽しんでいた。
- 保育者が絵本を読み聞かせている時には、嬉しそうに見たり絵本を触ったりして興味を持っている姿が見られた。
- 初めての夏祭りでは、いつもと違う雰囲気泣く子がいたが、保育者が抱っこをすることで落ち着いて雰囲気を味わっていた。指差しをしたり興味を持って見つめる様子が見られた。
- 夏の花や生き物をじっと見つめたり、捕まえようと手を伸ばして興味を持つ様子が見られた。
- 声を出して保育者を呼んだり、欲求を伝えようとする。
- サポートがなくても座った姿勢を保って遊べるようになった。
- ハイハイで段差を上り下りしたり、箱に玩具を出し入れすることを繰り返し楽しむ。

活動内容（3つの視点对応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**一定の保育者との関わりを深め、安心感や楽しさを感じる。（ヒト）
環：子どもと信頼関係が深まっていくよう、一人ひとりとしっかりと関わる時間を持てるようにしていく。また、子どもの欲求なども丁寧に受け止めながら、安心感を持てるようにする。
- **活：**体調に気を使ってもらいながら、ゆったりと快適に過ごす。（健やか）
環：疲れや体調不良で調子が整っていない時には、無理に活動せずに子どもに合わせてゆったりと過ごせるように環境を整えていく。
- **活：**親しみのある保育者に抱っこされたり見守られたりしながら、安心して眠る。（健やか・ヒト）
環：一人ひとりの安心できる体勢、気持ち、要望をしっかり汲み取って温かい援助を行う。温度や湿度など寝やすい適切な環境を整えていく。
- **活：**自分から意欲的に食事をし、満足するまで食べる。（健やか）
環：手掴みでも子どもが意欲的に食事をしている時には意欲を認め、機会を見ながらスプーンを持ってみるように声をかけていく。食事が進まない時には、必要に応じて援助や声かけを行うようにする。
- **活：**おむつを取り替えてもらう心地よさを感じる。（健やか）
環：おむつを変える際には声をかけ、子どもが変えてもらった心地よさを感じられるようにする。
- **活：**苦手な食材も少しずつ食べようとする。（健やか・モノ）
環：苦手な食材は小さくして小皿に置くなどの工夫をする。無理なく食事を進めるため、様子を見て切り上げる。
- **活：**自分の気持ちや見つけた物を声や指さしで伝えようとする。（ヒト）
環：子どもが知らせた際、目を合わせて「～だね」等、言葉を返すことで応答のやり取りを経験できるようにする。
- **活：**保育士と一緒に着替えることを通して、自分でも腕や足を動かして着替えようとする。（ヒト・モノ）
環：スキンシップを取りながら楽しく着替えをし、意欲を高めるようにする。自分で行っている時は見守り、その経験を大切にする。
- **活：**一人ひとりと触れ合う中で体調の変化に気付いたり情緒の安定を図る。（健やか）
環：一対一で肌と肌で触れ合い、心地よさや喜びに繋げる。触れながら体温や顔色、肌の状態も確認し、体調の変化に迅速に対応出来るようにする。
- **活：**沐浴や清拭をしてもらう心地よさを感じる。（健やか）
環：暑さが残る時期、様子に応じて沐浴や清拭、着替えができる環境を整えて清潔を保てるようにする。同時に肌状態の確認も行っていく。
- **活：**保育者の簡単な言葉かけが分かり、行動しようとする。（健やか・ヒト）
環：日々、単語や二語文等で分かりやすく言葉かけしたり、言葉と行動を結び付けて関わる。少しずつ分かって行動出来るようになってきた姿を笑顔で認める。
- **活：**離乳食や幼児食の味や形態に慣れて、自ら口を開けたり食べることを楽しむ。（健やか）
環：形態の変化や園で初めて食べる食材は、「モグモグだよ」「梨だよ」と言葉かけしながら食べる様子をよく観察する。様子に応じて食材を小さく切り、少しずつ慣れていけるようにするとともに安全な給食提供を行う。
- **活：**体や表情で気持ちを表そうとする。（健やか・ヒト）
環：温かな雰囲気の中、優しい眼差しで関わり安心して気持ちを表現出来るようにする。気持ちを受け止めて「○○かな？」と代弁したり、同じ動きや喃語を反復しながら関わる。

- **活：**保育者と一緒に防災訓練に参加する。（健やか）
環：職員間で災害時の対応を共有しておく。慌てることなく、普段と同じ声色や接し方で関わり、安心して参加できるようにする。又、防災頭巾を一人ひとりの様子に合わせて無理なく被る。
- **活：**オマルやトイレに興味を持ち、座ってみようとする。（健やか・モノ）
環：側につき、安心して座れる環境を作る。座れたことを大いに褒めて、喜びやトイレへの興味に繋げていく。
- **活：**気温や湿度に留意し、快適に過ごせるようにする。（健やか）
環：温度湿度計で確認しながら、空調の調節や換気を行う。暑すぎず冷えすぎない環境を整えて健康に過ごせるようにする。

教育（遊び）

- **活：**ハイハイや伝い歩きをしながら、探索活動を存分に楽しむ。（健やか・モノ）
環：探索活動をしている時には様子を見守り、行動範囲を狭くしすぎないように環境を整えていく。また、転倒の危険がある箇所などにはクッションを準備しておくなど、配慮を行う。
- **活：**保育者に声をかけてもらったり名前を呼ばれたりすると、しぐさや喃語で反応してやりとりを楽しむ。（ヒト）
環：保育者の呼びかけに対して喃語やしぐさで反応をした時には、保育者も反応するようにすることでやりとりの楽しさを感じられるようにする。
- **活：**戸外に散歩にでることを喜び、自然に興味を持つ。（健やか・モノ）
環：戸外では葉っぱや生き物にも目がいくように、子どもに見せたり触れてみたりできるようにしていく。子どもに渡す際には誤飲につながらないようによく見ておく。
- **活：**好きな絵本を読んでもらったり歌を歌ったりしてもらうことを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：子どもの反応やペースに合わせて喜ぶフレーズを繰り返したり表現をつけながら、心を通じ合わせるように進めていく。
- **活：**触れ合い遊びなどを通して、身体を動かす楽しさを味わう。（健やか・ヒト）
環：触れ合い遊びの際にはバランスを崩して転んだりしないように気をつけて行う。また、子どもが無理な体勢になっていないかなどもよく気をつけながら行っていく。
- **活：**全身を動かしてリズムを楽しむ。（健やか）
環：リズム遊びを多く取り入れ、繰り返し行う。スキンシップをとりながら身体を動かす姿を見せ、楽しめるようにする。
- **活：**保育者や友達とやりとりを楽しむ。（ヒト）
環：保育士や友達と遊べるように隠れる場所やくぐる場所などを用意し、一緒に触れ合って遊べるようにする。
- **活：**歌や手遊びを模倣して楽しむ。（ヒト）
環：大きく抑揚をつけたり、ゆっくり大きく動きを見せる等、子どもが模倣を楽しめるように意識して行う。子どもからの反応が良かったものは繰り返し行うなど、反復の楽しさを入れていく。
- **活：**気になる玩具や物に積極的に関わろうとする。（モノ）
環：子どもの目線の先に玩具を用意しておき、好奇心を刺激する。「音が鳴ったね」「○○だよ」と気付きや驚きを言葉にして代弁しながら玩具に触れる楽しさや興味に繋げる。
- **活：**保育者と一緒に季節の製作を楽しむ。（モノ）
環：保育者が楽しそうに製作する姿を示して興味に繋げる。製作は発達や季節感に合った内容にし、誤飲や怪我のないようにする。
- **活：**運動会に向けて、ハイハイ競争やかけっこ、運動用具で遊ぶことを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：運動会の音楽をかけながらハイハイやかけっこ、運動遊びを行い、雰囲気を感じられるようにする。又、天気の良い日には戸外でも運動用具を取り入れていく。

- **活：**保育者の言葉を真似して声を出そうとする。（ヒト）
環：口元をゆっくりと動かしはっきりと言葉かけしながら関わる。発声や発語を笑顔で認めながら、楽しさや言葉の発達に繋がられるようにする。
- **活：**座って遊んだり、自力で立ったりしながら姿勢を変えて遊ぶことを楽しむ。（健やか）
環：バランスを崩すことを予想し、体を支えたり、周囲の環境を整頓したりしながら安全な環境を整える。「出来たね」と笑顔で認めて喜びに繋げる。
- **活：**保育者と玩具のやりもらい遊びを楽しむ。（ヒト・モノ）
環：「ちょうだい」「はいどうぞ」「ありがとう」と笑顔で言葉かけしながら身振りを添えて関わり、やりとりの楽しさに繋がったり、少しずつ自分の気持ちを身振りで表せるように関わっていく。
- **活：**保育者と一緒になぐり描きを楽しむ。（モノ）
環：クレヨンの長さや持ちやすさ等に留意し、誤飲のないようにする。保育者が描いて見せることで興味に繋げ、描く様子を「トントン出来たね」「青い線になったね」と笑顔で認めて楽しさに繋げる。
- **活：**友達の存在に興味を持ち、見つめたり触れ合おうとする。（ヒト）
環：友達の顔や体に触れて関わろうとする姿を受け止め「○○ちゃんいたね」「優しくナデナデしよう」と側で保育者が仲立ちしながら関わりたいという気持ちを満たしていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 行動範囲が広がってきているため、手の届く範囲に危険なものがないかよく安全確認をしっかりと行う。
- 興味を示す対象も増えてくるため、誤飲につながるものがないか、怪我しやすいものがないかなどよく見直す。
- 疲れが出て体調の変化も起こりやすい時期。いつもの様子を保育者同士でよく共有し、少しでも違和感などを感じた際には、連携をとって対応できるようにしておく。
- 手づかみ食べをしている時は口の中に食べ物が入りすぎていないか確認したり、食材を安全な大きさと提供する。
- 唾液が付いている玩具を小まめに消毒し、衛生面に配慮する。
- 食べこぼしはその都度拭いたり、食後は丁寧に清掃し、安全で衛生的な環境を作る。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- ぶどうを作ろう／敬老の日のプレゼント／お月見うさぎ

歌

- こおろぎ／おおきなくりのきのしたで／つき

絵本

- くっく くっく／どうぶつあかちゃんえほん しっぽ／ぴよ ぴよ ぴよ

手遊び

- やきいもグーチーパー／大きなクリの木の下で／やさいのうた

室内室外遊び

- 色つき泡であわあわ遊び／ボールでシュート遊び／よーいどん！かけっこあそび

行事

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 防災の日（9/1）
- 救急の日（9/9）
- 敬老の日（9/15）
- 秋分の日（9/23）

食育

- 食事の挨拶を保育者と一緒に行う。
- 保育者に声をかけてもらいながら、楽しい雰囲気の中で食事をする。
- 手掴みでも自分で意欲的に食事を進める。
- スプーンやフォークに興味を持ち、触ったり使ってみたりしようとする。
- 保育者と一緒に食前の手洗いをすることに慣れる。
- 食材の感触を味わいながら食べることを楽しむ。
- 指差しをしたり顔を左右に振ったりして、食べたいものを伝えようとする。
- 両手でコップや器を持ってスープや水を飲んだりする。

異年齢保育

- 園庭で探索を楽しむ中で年上の友だちに関心を示す場面では、安心して関われるよう援助する。
- 使用する玩具の種類に応じてわかりやすくスペースを分け、安全に遊べるよう配慮する。
- 友だちの遊びへの興味を大切に、安全に遊べるよう配慮しながら丁寧に仲立ちする。
- 友だちの作品に触れて崩れてしまった際は、相手の気持ちを丁寧に代弁しながら、穏やかに関わる。
- 友だちの動きや声に驚いたときには、不安に寄り添い、安心して過ごせるよう関わる。

職員間の連携

- その日の子どもの体調を共有し、状況に合わせて役割を分担しながら、個別に配慮する。
- 子どもの動きが活発になってきたため、様子に応じて室内環境を見直し、安全に配慮する。
- 人見知りや後追いを受け止め、できるだけ同じ保育者が関われるよう連携し、安心感を育む。
- 簡単な身の回りのことへの興味を育む対応について話し合い、共通認識を持って関わっていく。
- 戸外遊びが始まる時期に向けて、職員の動きや役割分担について再確認を行う。

地域と家庭との連携

- 汗をかいたらシャワーや沐浴を行うため、体調や検温を毎日行なってもらい、可能かどうか連絡してもらえよう願います。

- 暑い日には着替えを行うため、引き続き多めに着替えを準備してもらえるようお願いをする。また、涼しい日も増えてくるため、体温調節がしやすいような服も準備しておいてもらえるように声をかけていく。
- 暑さや連休明けで疲れが出やすい時期。園での様子や家庭での様子を伝え合い、体調によってはゆったり過ごせるようにコミュニケーションをとる。
- できるようになったことを保護者と一緒に喜び合い、子育てに対する安心感に繋げる。
- 普段夕寝をせずに過ごす子も、疲れから夕寝をすることもあるため、その旨を保護者に伝えることで家庭でのリズムに配慮する。
- 散歩の際に地域の人と挨拶を交わす。

長時間保育の配慮

- 夏の疲れが出やすい時期のため、一日を通して無理なく過ごせるよう配慮する。
- 夕方は気温が下がるため、快適に過ごせるよう必要に応じて衣服の調整を行う。
- まだ延長保育の環境に慣れない子の気持ちを受け止め、スキンシップを通じて安心感を育む。
- 一人ひとりの遊びや探索活動を安全に配慮しながら見守り、楽しさに寄り添う。
- オムツ交換や授乳は、個々の生活リズムに合わせて行い、快適に過ごせるよう配慮する。

自己評価

- 保育者との関わりを深め、安心感や親しみをもつことができていたか。
- 体調を崩すことなく、快適に過ごすことができていたか。
- 午睡の際には親しみのある保育者に抱っこされたり見守られたりしながら、安心して一定時間眠ることができていたか。
- 自分から意欲的に食事を進め、満足感を感じられていたか。
- ハイハイや伝い歩きを意欲的に行い、探索活動を楽しんでいたか。
- 保育者に声をかけてもらおうと嬉しそうにし、しぐさや喃語で反応してやりとりを楽しんでいたか。
- 戸外に散歩にでることを喜び、自然に触れて過ごすことができたか。
- 好きな絵本を読んでもらったり歌を歌ったりしてもらおうと、手を叩いたり楽しそうにしたりする姿が見られたか。
- 一人ひとりの欲求や思いを汲み取り、心地よく過ごせるようにしたか。
- ズボンを脱いだり、オムツを取り出したり簡単な身の回りのことに興味を持っていたか。
- 一人ひとりに合った安全な給食提供を行えたか。
- 沐浴や着替え等を取り入れて残暑を心地よく過ごせるようにしたか。
- 季節や発達に合った製作を楽しめたか。
- 保育者と一緒に防災訓練に参加できたか。
- 職員間で災害時の対応について共有したり、防災訓練の評価や改善点を話し合ったか。
- 保護者に対して1日の様子を丁寧に伝えられたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

